

豊新地域保健福祉計画 見直しワークショップ

令和5年4月

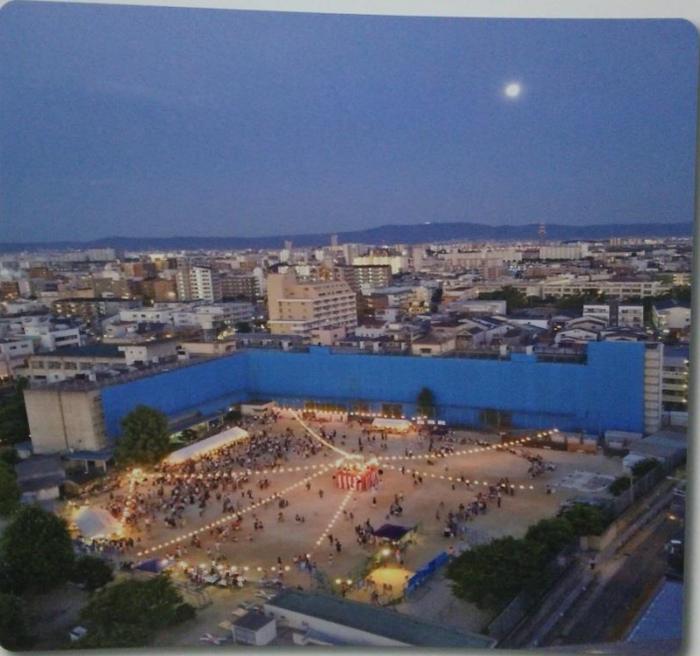
豊新地域活動協議会

豊新版地域保健福祉計画 (平成30年4月策定)

豊新 地域保健福祉計画

誰もが健康で安心して暮らせるまち、
明るく楽しいまち豊新をめざして

～ ほっこりほうしん ～



地域保健福祉計画策定委員会

4. 中間まとめ報告書
計画づくりに至る経緯や成果をあらためて確認するとともに、各区分ごとのワークショップで作成したワークシートをもとに、どのような内容であったかを各区分から発表し、内容を共有。
○日時：12月16日(土) 19時～20時15分 (出席者30人)
○対象：地域関係者(各区分会のメンバー等)

5. 学級会(公開講座)
中間まとめ報告書の「ふりかえり」を行うとともに、私たちが取り巻く現在の社会情勢に見る制度・仕組みから、「地域保健福祉計画」の必要性や目指す方向性についてあらためて確認。続いて、他区における先進的実践事例として、北区豊島東地域の取り組みについて報告を受ける。
○日時：12月18日(月) 19時～20時30分 (出席者34人)
○対象：地域関係者(各区分会のメンバー等)

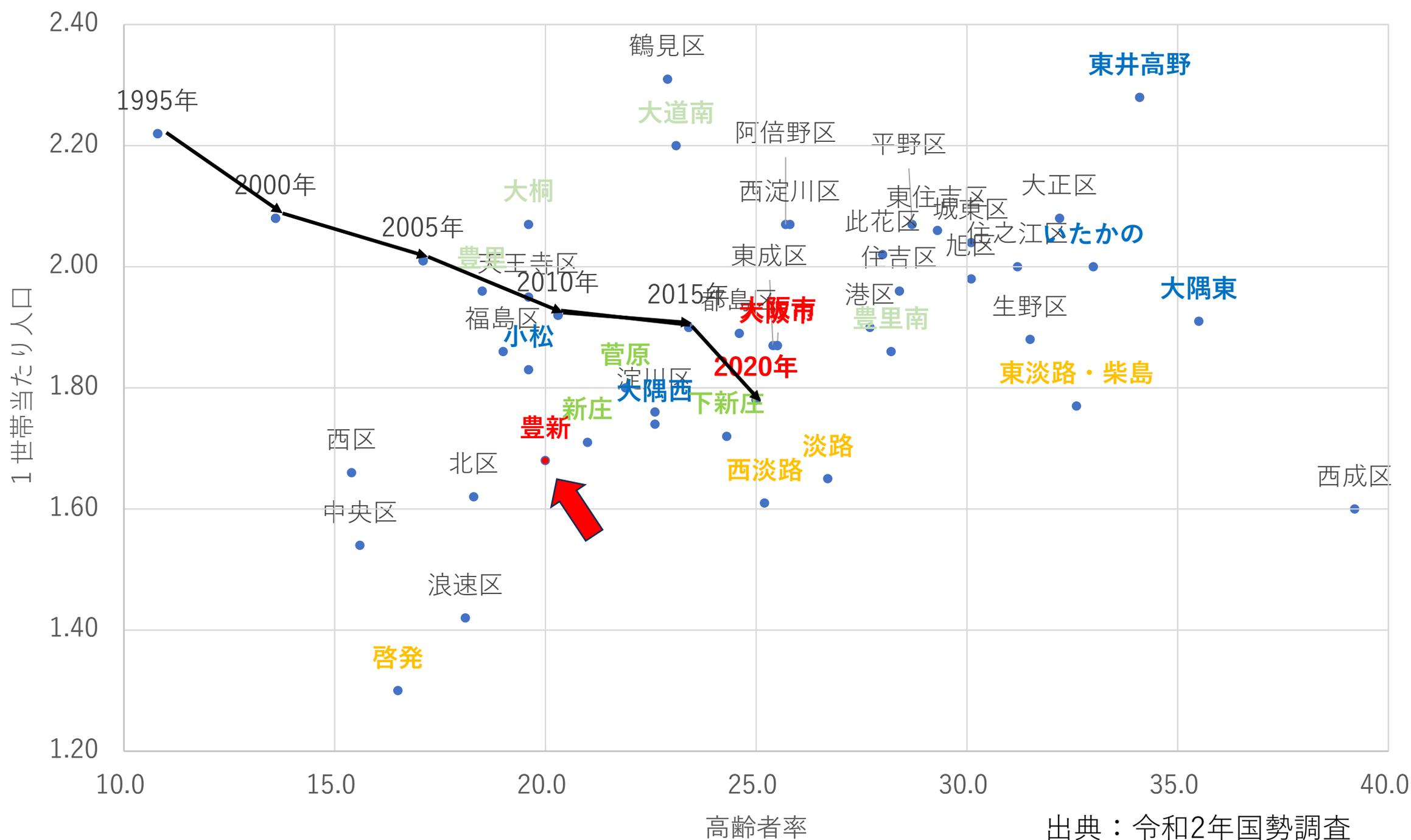
6. 策定準備会(ワークショップ)
これまでワークショップで話し合いの成果を踏まえ、A～Dの各区分において計画の策定となるワークシートの作成を図る。具体的には、ワールドカフェ方式により、自分の属する区分だけでなく、他の区分も時間を区切って順に自分たちの希望や目標について確認。共有し、加えるべき内容があればその旨、通知するともに、最終的にはテーマ毎に「短期」「中期」「長期」の目標までを導き出す作業を行う。
○日時：2月17日(土) 19時～21時 (出席者35人)
○対象：地域関係者(各区分会のメンバー等)



各区分分科会 (A区分B班 H29.7.16) 各区分分科会 (グループ H29.7.30)
各区分分科会 (A区分B班 H29.9.2) 各区分分科会 (C区分D班 H29.9.3)
各区分分科会 (A区分B班 H29.10.28) 各区分分科会 (C区分D班 H29.11.13)
事前説明会 (H29.6.25) 分科会 (グループ) (H29.7.15) 中間まとめ報告会 (H29.12.16) 学級会 (H30.4.18)

重点項目	時期	短期		中期		長期			
		緊急性が高いもの・取り組みやすいもの等	緊急性が高いもの・取り組みやすいもの等	中期的に取り組む必要はないが、短期的に取り組む準備を促すべきもの等	緊急性が高いもの・取り組みやすいもの等	中期的に取り組む必要はないが、近いうちに取り組む必要があるもの等	横断的な取り組み	達成目標	
基本目標	キャッチフレーズ								
みんなですすめる	高齢者・障がい者を地域で支える	○高齢者の見守り活動の充実 ○まきがいづくり ○支援体制の確立・充実	○大きなイベントではなく、小さなことからすすめていく ○色々な人が集える場所を増やす	○ニュースポーツを通じた交流	○ネットワーク委員のような地域と他をつなぐ人材の確保				
	安心して暮らせるまちづくり 災害・防犯	○災害時の連絡体制の確立・充実 ○警報、消防、区役所との連携	【防犯】 ○防犯カメラ ○見守り ○高齢者版子ども110番 【防災】 ○防災地域訓練 ○防災意識づくり ○備蓄の確認、保管場所の確保 ○淀川氾濫時の避難マップ	【防犯】 ○子どもの犯罪防止に力をいれる ○少年犯罪のどっかから(模倣犯)をなくすべく子ども広場 【防災】 ○災害時のスーパー、コンビニとの連携協定	【防犯】 ○民間のビルやマンションにも避難できるような体制 ○AEDを各コンビニに設置				
豊新を支えあうまちづくり	子どもを地域で支える	○子育て支援体制の充実 ○身体・心の育み ○非行防止対策 ○学校との連携	○学校の協力 ○先生のあいさつ ○大掃除の「砂」を無く取り組み ○掃除の教え ○フインターフェスティバル ○土曜授業の日に「朝ごはん屋さん」 ○豊新のキャラクターをつくるコンテスト	○おふと公園改築のための基金活動 ○色々な職業の人が授業をやる(PTAなど) ○学校の取り組みの定着化	○継続的に担い手が入ってくる仕組みづくり				
	他地域の自慢できる魅力的なまちづくり	○生活習慣病の予防 ○介護予防 ○スポーツレクリエーション ○イベントの充実 ○地域資源・人材を活かした企画	○企業への協力と商店会の協力・協働でのイベント ○商店会の協力 ○これまでと違う形での運動会「健康の日」のつどいの予定会 ○豊新マップの作成(店舗と	○マチコン(精活的なもの)…20～30代の未婚者のつながり一結婚一定住 ○施設等で働いている人(区・企業・事業所・保育所等)の交流イベント…イベント前にPTA主催	○豊新まつりの開催 ○新しいイベントの開催 ○地域通貨の導入				

つながりづくり、福祉コミュニティの構築
住んでよかった、住み続けたいまち 豊新



出典：令和2年国勢調査

計画策定後5年間の出来事

- ・ コロナウィルス感染拡大。緊急事態宣言
外出を控える、マスク着用、手指消毒などの感染対策
- ・ 大阪都構想否決
- ・ ドコモ口座を通じて預金不正に引き出される被害続出
- ・ レジ袋有料化 ・ Windows 7 サポート終了
- ・ 熱海で土砂流出 ・ 東京夏季オリンピック ・ デジタル庁発足
- ・ 阿蘇山噴火 ・ 新500円硬貨発行 ・ 北京冬季オリンピック
- ・ ロシアがウクライナ侵攻 ・ 知床半島で観光船が沈没
- ・ 青年年齢18歳に引き下げ
- ・ ペットにマイクロチップ装着義務法が施行
- ・ a u で大規模通信障害 ・ FIFAワールドカップベスト16

※平成30年4月～令和5年3月末

新たな取り組みやり方を変えた事業①

コロナ感染対策事業

ふれあい喫茶コスモス
おやじカフェ



パーティションで間仕切り
個包装で衛生面強化

高齢者食事
サービス



テイクアウト式への変更

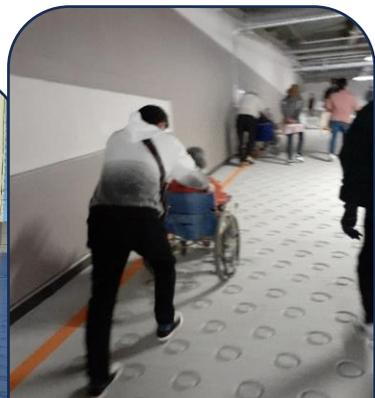


避難所開設訓練



感染対策受付
間仕切り等

事業者との連携事業



大型店舗を活用した
洪水時高所避難訓練

新たな取り組みやり方を変えた事業②

新たな担い手との連携した新事業

子どもの居場所づくり



不登校児童向け
大学生ボランティア講師

朝のこども食堂



百歳体操参加者給仕
小学校児童への朝食
地域企業の社会貢献

新しい事業

弁当フェス



お祭り気分
テイクアウト



桜の通り抜け



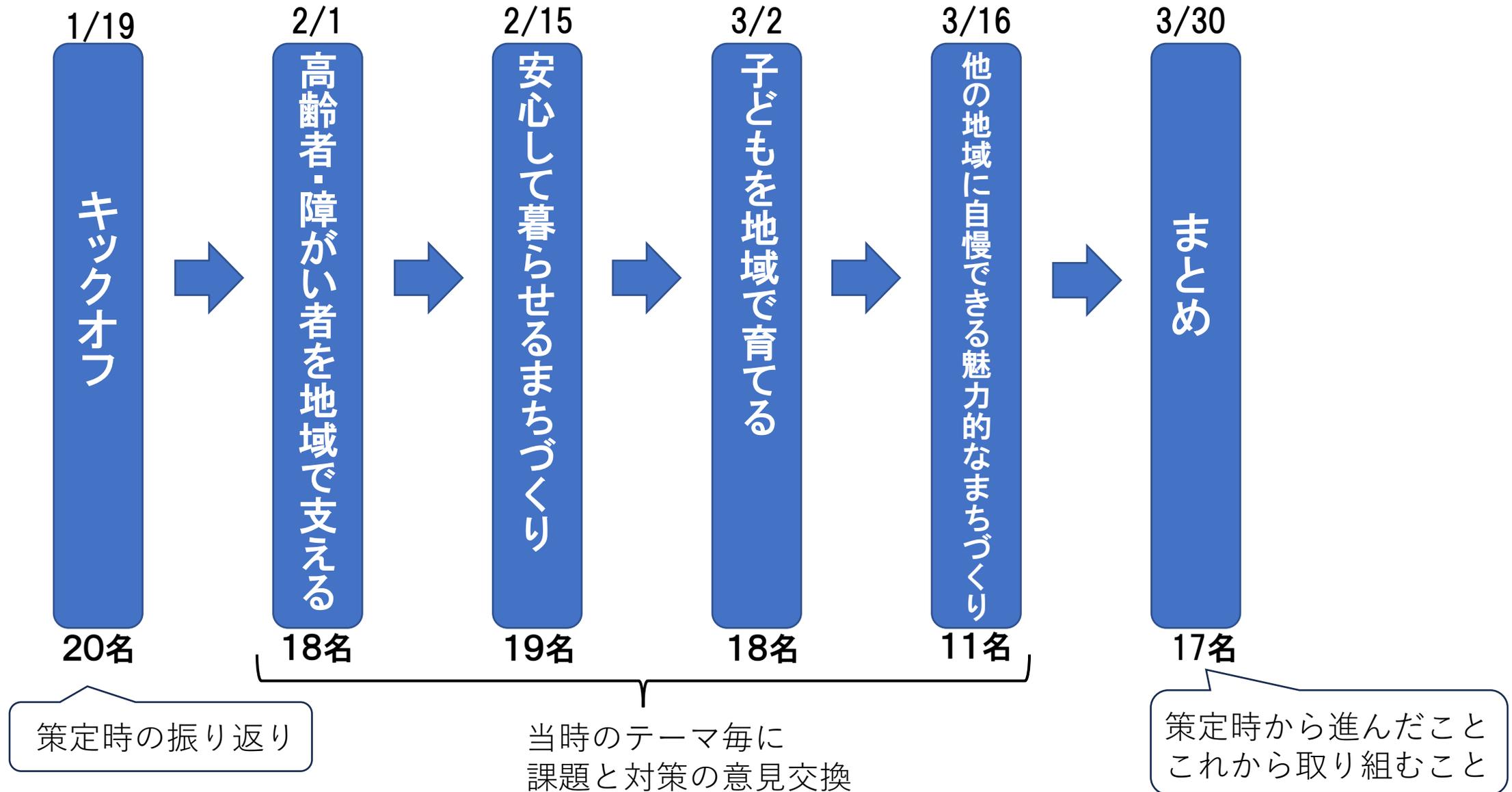
小学校桜
一般住民へ開放

豊新を守る会発足



小学校の花木
ボランティア

計画見直しWSの流れ



ワークショップの様子



各テーマに沿った学習（現状の把握）を行った上で、策定時を振り返り、意見を出し合い、各グループで出た意見などを共有

安心して暮らせるまちづくり～防災・防犯～

課題	具体的対応策
<ul style="list-style-type: none">・ 防災リーダーの高齢化。女性いない。・ 単身、町会未加入者は被災していても助けられない。・ 青パト隊員の高齢化。夜間走れない。・ 個別避難計画策定において個人情報の提供がネック。・ 平日、土日、夜など色々な訓練があったらいい。・ 支援を要する高齢者、障がい者を誰が手助けするか。・ コロナで人間関係が希薄になっている。・ 日中働いている人が多くなり手助けできる人が地域にいてるのか。・ 普段からの交流がないと、いざという時に支援まで思い至らない。・ 公共施設以外での避難場所が必要。・ 自宅での避難も重要。	<ul style="list-style-type: none">・ 防災指導者を増やす。・ AEDの設置場所の把握。・ こども110番をコンビニ、喫茶店などお店の活用。・ 福祉施設の何でも相談。・ 防災訓練を平日の日中、夜、土日の日中、夜で実施。防災訓練の定例化・ 防災訓練の広報。・ 自転車の鍵閉め活動・ 防災ワークショップ。・ 福祉避難所にも防災訓練に参加してもらう。・ 子ども食堂、参観日、地域行事でチラシや防災グッズ実物を見られるように。

高齢者・障がい者を地域で支える

課題	具体的対応策
<ul style="list-style-type: none">・ 近隣との交流が無い（知られたくない）・ コロナ禍で集いの場への外出が減った。・ 近所付き合いが無い。・ 単身マンションが多い。・ 軽い認知症。本人の自覚が無い。・ 知らない集まり、事業に入りづらい。・ 淋しい時にふっと立ち寄れる場所があれば。・ フレイル身体機能（心）低下。・ イベント活動の情報が必要な方に届いていないのでは？・ 担い手の問題。女性もほとんど仕事をしている。・ コロナの影響か訪問しても出てきてくれない。・ 見た目にはわかりにくい障がいのある子の増加。支援しきれない。・ 高齢者や障がい者をかかえる家族や支援者が当事者を隠すように情報をオープンにしないケースが多い。	<ul style="list-style-type: none">・ 集会所を利用した持ち寄り喫茶。・ 連絡・相談先は1ヶ所に。・ （余った）生鮮食品などが自由にやりとり出来る場・ 朝の子ども食堂で高齢者の生きがいに。・ 食事会・持ち帰り会食を選べる。・ 老人クラブの情報発信。・ 男性料理教室。・ スーパーに情報チラシ（地域の活動など）・ 小さな規模の交流をたくさん・ 大学・企業・ボランティアなどが集まる交流会・ 百歳体操、こども食堂などのついでにニュースポーツ体験会・ 地域の魅力を伝えるYouTubeを募集

子どもを地域で育てる

課題	具体的対応策
<ul style="list-style-type: none">・ 豊新の森の活用・ 子どもが困っている事を素直に話せる場・ 習い事の多様化。・ 親同士の繋がり希薄化。・ 家族単位の行動が多い。・ 「自分が住んでいる地域」への愛着・関心・ 若い地域ボランティアが非常に少ない・ 見守り隊に新しいメンバーが入らない・ ボランティアの高齢化とひとりの人への集中化・ 新聞を取らないので区政だよりを見ない・ 公園の遊具が少ない。公園でゲームしている・ 出生率がどんどん下がっている。将来が心配。・ 母親の孤独。母親の働く率が高い。・ ひとり親が多いがオープンにならない・ P T A も継続が大変。・ コロナの3年間、学校でイベントできなかった	<ul style="list-style-type: none">・ かぶと公園のリニューアル・ 桜の季節にイベントをしたい・ イベントでの子ども従事者。・ ポスターに子どもの参加・ 子どもの関係すること、イベントや居場所に子どもが企画や広報に参加。・ ふれあい居酒屋。男性にも群れる癖づけ。・ YouTubeの配信。ラインの活用。・ 大人が盛り上がる何か。・家族参加イベント。・ 地域活動に気軽に参加できる周知・ 地域のイベント一覧を各戸配布・ スタンプラリーを導入・ 入学式後に地域ボランティアの内容説明・ 気軽に行ける場所・ インターネット掲示板への書き込み・ ネットで近所（子どもも）がつながる・ お弁当フェス

他の地域に自慢できる魅力的なまちづくり

課題	具体的対応策
<ul style="list-style-type: none">・薄くなら繋がりたい人はいる・お祭りなどでの繋がりに結びつかない。・町会のメリットを示さないと続かない・必要な情報だけ見る・必要な人にこそスマホが使えるようになってほしい・高齢化。高齢者の一人暮らし増・子どもの減少、子ども会の再開難・行事を経験していないスタッフ増・子どもの遊びがゲーム主体。昔あそび知らない。・みんながイベントなどを楽しみにしている・喫茶参加される方一緒。・外国の方へなかなか情報が届いていない。・外国の方も地域のイベントに参加してもらえないか	<ul style="list-style-type: none">・QRコードでの防災登録を呼びかけ・ラインアカウントで地域のお店のクーポン・お祭りみたいに集まれる場・行事経験が少ない⇒新しいやり方が出来るかも・地域の大学生がボランティアでこどもと一緒に。・小学校の桜の通り抜けの実施・防災グッズの展示。消防によるロープ結索・大人食堂。こどもが調理して大人を招待する・大学生（不登校支援）の地域の行事の協力・色々なスポーツを取り入れていく・キッザニアの実施。大学生にも協力求めながら・地域の行事の中に子ども主体のブースをつくる・町会行事に参加するとスタンプ・ポスターを外国の方にも伝わる工夫・ゴミ出しのルールチラシ 色々な国の方に伝わる工夫

策定時から進んだこと。これから取り組むこと。

出来ていること	今後の取り組み	課題
<ul style="list-style-type: none">・朝のこども食堂・小学校のキャラクター・豊新地域のロゴ・コンビニにこども110番・おやじカフェ・コロナ禍での弁当販売・豊新の森を育む会・子どもの居場所づくり、学習支援の取り組み・イオンとの連携・障がい者団体とのコラボ・防犯灯のLED化	<ul style="list-style-type: none">・豊新小学校桜の通り抜け・モルック、ボッチャ等のニュースポーツ・ネットの使い方勉強会 ※詐欺対策など。・防災かまどベンチ等の設置	<ul style="list-style-type: none">・小規模防災訓練の複数回実施・企業連携し、防災訓練・イベント実施時に防災ブース・色々な職業の人の授業。・世代間交流・活動参加者を増やす・活動の負担が重すぎる・夏のイベントを秋への移行・ボランティアのグループライン※日程調整。有事の時に有効・お得情報によるライン登録増

今後の取り組み①

テーマ	短期	中期	長期
安心して暮らせる まちづくり ～防災・防犯～	<ul style="list-style-type: none">・ AEDの設置場所の把握・ こども110番のコンビニ、喫茶店などのお店の活用・ 防災訓練の広報・ 自転車の鍵閉め活動・ 地域行事等でのチラシ配布、防災グッズ展示	<ul style="list-style-type: none">・ 防災指導者の増員・ 福祉施設の何でも相談・ 防災ワークショップ・ 福祉避難所の防災訓練参加	<ul style="list-style-type: none">・ 防災訓練を平日の日中、夜、土日の日中、夜で実施。防災訓練の定例化
高齢者・障がい者 を地域で支える	<ul style="list-style-type: none">・ 連絡・相談先の統一化・ 高齢者の生きがいになる朝の子ども食堂・ 老人クラブの情報発信・ スーパーに情報チラシ配架・ 百歳体操などのついでにニュースポーツ体験会	<ul style="list-style-type: none">・ 持ち寄り喫茶。・ (余った)生鮮食品などが自由にやりとり出来る場・ 食事会・持ち帰り会食の選択制・ 男性料理教室	<ul style="list-style-type: none">・ 小さな規模の交流イベントをたくさん実施・ 大学・企業・ボランティアなどが集まる交流会・ 地域の魅力を伝えるYouTubeを募集

今後の取り組み②

テーマ	短期	中期	長期
子どもを地域で育てる	<ul style="list-style-type: none"> ・地域イベント一覧全戸配布 ・入学式後に地域ボランティアの内容説明 ・気軽に行ける場所 ・ネット掲示板への書き込み ・ネットでの近所のつながり ・お弁当フェス 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントの子ども従事者。 ・ポスターに子どもの参加 ・ふれあい居酒屋。男性にも群れる癖づけ。 ・家族参加イベント ・地域活動に気軽に参加できる周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・かぶと公園改修 ・桜の季節のイベント ・子どもの関係すること、イベントや居場所に子どもが企画や広報に参加 ・YouTubeの配信 ・スタンプラリーの導入
他の地域に自慢できる魅力的なまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・お祭りみたいに集える場に参加 ・地域大学生が子どもと一緒に参加 ・小学校桜の通り抜け定例化 ・防災グッズの展示。 ・外国の方にも伝わる告知 ・ゴミ出しルールチラシ 	<ul style="list-style-type: none"> ・大人食堂。子どもが調理して大人を招待る ・色々なスポーツの取入れ ・地域行事に子ども主体ブース ・地域行事スタンプ 	<ul style="list-style-type: none"> ・QRコードでの防災登録を呼びかけ ・ラインアカウントで地域のお店のクーポン ・キッザニアの実施

まとめ

- ・ 子どもから高齢者や障がい者まで
居場所があり、生きがいにつながる
安心して暮らせる楽しい地域づくりが必要
- ・ もっと地域を知ってもらい
もっと地域に関わってもらい
もっと地域を好きになってもらえる
地域活動を目指すことが必要

豊新地域の目指すべき目標

「誰もが健康で安心して暮らせるまち 明るい楽しいまち豊新」

を今後も実践していきましょう！